

JAIST東京MOT(技術経営)コースの 開設から現在までを振り返って ～ 目指すべき方向を考える ～

2008年3月2日

北陸先端科学技術大学院大学
知識科学研究科・教授
井川 康夫 (Yasuo Ikawa)
ikawa@jaist.ac.jp

2008-03-02

知識科学研究科10周年
記念シンポジウム

1

設立

- 2003年10月: JAIST-MOTコース設立
(八重洲キャンパス: 東京駅大丸デパート9階)
修士課程学生: 14名、博士課程学生: 1名
 - 入学資格として「社会人として3年以上の実務経験があること」を設定。
 - 講義時間を月～金は18:30-21:40, 土曜は09:20-18:20に設定。(1週間集中講義形式)
 - 講義科目数
 - 技術経営中核講義: 12科目
 - 知識科学中核講義: 7科目
 - 一般講義: 2科目合計 21科目 でスタート
(2008年度は35科目)
 - 修士論文研究を必須とする。

2008-03-02

知識科学研究科10周年
記念シンポジウム

2

運営コンセプト

1. コンセプト創造型リーダーの育成
 - 「テクノプロデューサー」
 - How から Whatへ
 - 仮説設定力(アブダクション)
2. 理論と実践の融合
 - 技術力と人間力の双方の追及で「変化の先に立つ」
 - 産学官連携で新価値創造 (診: コンサルタントなどのプロフェッショナルメンバー)
 - 現実組織の診断でMOT改革実践力の向上
3. 知識科学を基盤とする技術経営
 - 組織的知識創造理論と情報技術による知識マネジメント研究を技術経営分野に適用することを試みるユニークなMOTコース
 - 科学と技術の融合、技術とサービスの融合などにより、次世代イノベーション・マネジメントを目指す。
 - 国際産学連携(GATIC)活動
4. 「技術の分かる経営者、経営の分かる技術者」の育成

2008-03-02

知識科学研究科10周年
記念シンポジウム

3

GATIC活動

- Global Advanced Technologies Innovation Consortium
- 創立メンバー組織
 - Kellogg School of Management, Northwestern University, USA
 - “Technology and Innovation Management” group, Swiss Federal Institute of Technology (ETH)- Zurich, Switzerland
 - Graduate School of Knowledge Science, JAIST, Japan
- 日本でのSymposium開催
 - 2003年10月: 一橋記念講堂(東京) 350名参加
 - 2004年12月: 東京駅ルビーホール(緊急開催) 74名参加
 - 2006年10月: 立命館大学朱雀キャンパス(京都) 300名参加 (立命館大学テクノロジー・マネジメント研究科がメンバー加入)

2008-03-02

知識科学研究科10周年
記念シンポジウム

4

八重洲キャンパス時代 2003年10月～2006年9月



2008-03-02

知識科学研究科10周年
記念シンポジウム

5

JAIST東京MOTコース

2006年10月1日に東京駅八重洲キャンパスから、田町キャンパスに移転

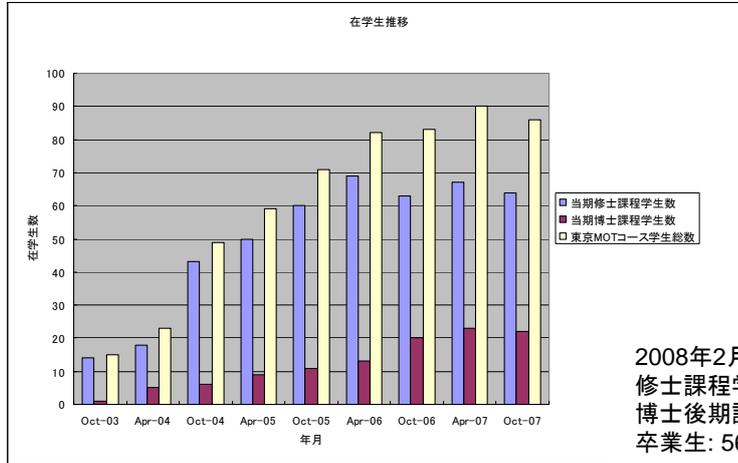


2008-03-02

知識科学研究科10周年
記念シンポジウム

6

東京MOTコース学生数推移



2008年2月29日現在
 修士課程学生: 64名
 博士後期課程学生: 22名
 卒業生: 56名

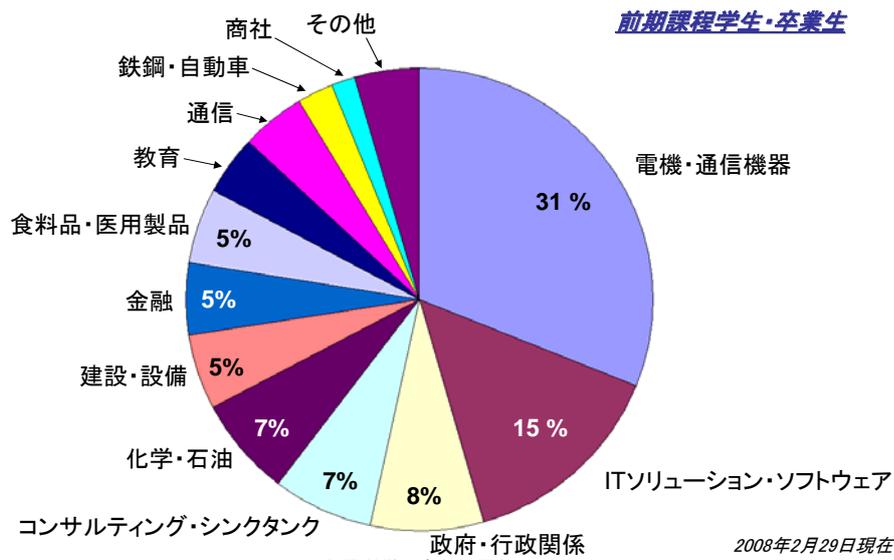
合計: 142名

2008-03-02

知識科学研究科10周年
 記念シンポジウム

7

在學生、卒業生の業種分布



2008-03-02

知識科学研究科10周年
 記念シンポジウム

2008年2月29日現在

8

JAIST-MOT教育の特徴

1. 知識科学に基づくMOT。
2. 理論と実践の融合により、イノベーション創出人材を育成。(技術力+人間力)
3. 討論重視のインタラクティブ講義。
4. グループ討論による活発な意見交換を通じた指導。
5. 少人数で家族的・自由闊達に意見交換できる“知創場”プラットフォーム。
6. 内部・外部から豊富な一線級講師陣による教員集団指導体制。
7. 産学連携によるアクションリサーチ。
8. 入学資格として、社会人経験3年以上。
9. 幅広い年齢層の学生が年齢差を気にせず議論。
10. 幅広い業種と幅広い職種からの学生が集積。
11. 平日18:30からと土曜日の開講(1週間集中講義形式、社会人受講に配慮)。
12. 国際的産学連携GATIC活動を通して、最先端MOTを導入。
13. 修士論文指導は個別ゼミと全体ゼミ方式の活用により実施。
14. 学術論文発表を奨励、これによりロジカルに議論する能力を醸成し、国際的に活躍できる人材を育成。
15. 卒業後のネットワーク活動により継続的に実務に生かせる体制。(東京MOTシンジケート)
16. 石川MOTコース学生との連携。大経済圏と地方経済圏の連携推進による日本経済活性化のモデル作りを目指す。

2008-03-02

知識科学研究科10周年
記念シンポジウム

9

今後の方向

1. 在学生・卒業生ネットワーク価値の増大。
 - インターネット上のコミュニケーションツールGroupScribeを利用した効率的コミュニケーションと情報共有機能の充実。
 - 大経済圏の東京MOTと地方経済圏の一つである北陸MOTの連携推進を継続。
 - このネットワークを設立後歴史の浅いJAIST在校生へのキャリア形成支援にも活用できるスキームに繋げていく。
2. 知識科学を基盤とするMOTの深耕で変化の先導を目指す。
3. 多様な経験をもつ社会人の知の交流で、互いにレベルアップできる場を提供し続ける。
4. 東京サテライトキャンパスの大学キャンパスとしての更なる充実。(社会人学生が勉学・研究しやすい環境の提供)
5. JAIST-MOTオープンセミナーの活用などで、外部との交流を推進。

2008-03-02

知識科学研究科10周年
記念シンポジウム

10